

子育てと体罰



日時：2015年10月17日(土)15:00～17:00(開場14:30)

会場：龍谷大学 大阪梅田キャンパス研修室

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階

「言うことをきかない子どもには、体罰もやむをえない」「教師の体罰はもつてのほかだが、親の体罰はしつけの一環」このような意見がしばしば聞かれます。その背景には、クレイゴでは済まない、「子育て」という営みの難しさがあります。誰もが生まれた時は赤ちゃんで、周囲のおとなに育ててもらい、やがておとなになっていきます。その意味で、誰もが「子育て」の当事者です。

今回は、「子育て」をめぐるさまざまな喜怒哀楽と「体罰」とのかかわりについて、参加者一人ひとりの経験と視点をざっくばらんに出し合いながら、おとなと子どもの関係のあり方、暮らしのあり方を見つめなおしたいと思います。

プログラム

1. 話題提供

「子育てと体罰について考える —子育て支援の現場から—

九門りり子 氏

- ・公益社団法人子ども情報研究センター サポーターネット
- ・「ポラリス」(交野市子ども家庭サポーターの会)

2. 参加者の意見交流会

会場アクセス

- JR「大阪」駅 桜橋出口 徒歩4分
- 地下鉄四つ橋線 「西梅田」駅3番出口すぐ
- 阪神「梅田」駅 徒歩すぐ



終了後、会場近辺にて懇親会を予定しています。(懇親会参加費は、別途必要になります)

参加費：一般:800円 会員・学生:500円
当日、受付にてお支払い下さい。

定員30名(申込先着順)

申込み：FAXまたはメールにて、
①お名前、②ご所属、③ご連絡先、
④懇親会参加の有無、をお知らせ下さい。
FAX: 0798-57-4122 (CAPセンター・JAPAN)
E-mail: taibatsu2015network@gmail.com



主催：体罰をみんなで考えるネットワーク

子どもへの「体罰」をめぐる、さまざまな「なぜ？」について、さまざまな立場の人々が集い、共に考え、おとなと子どもの「いい関係」づくりを目指す、ゆるやかなネットワークです。